

# 広報

No.84

# 県立三好病院

平成 23 年 9 月・10 月号

今月の特集：鼠径ヘルニアについて



4階病棟スタッフ同  
4階病棟スタッフ同

～県立病院事業基本理念～

県民に支えられた病院として県民医療の最棟の礎となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ 815-2

TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910

HP <http://www.tph.gr.jp/~miyoshi/>

## 臨時看護師募集

県立三好病院では臨時看護師、  
臨時准看護師を随時募集しています。  
詳しくは県立三好病院看護局  
(0883-72-1131) まで

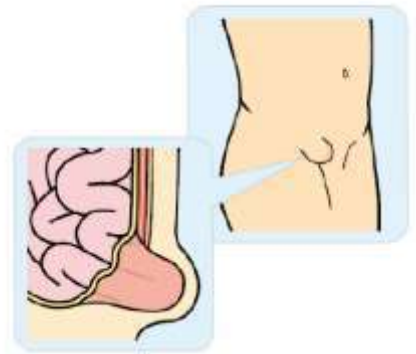
# 鼠径ヘルニアについて

外科 東島 潤

## 1. 鼠径ヘルニアとは

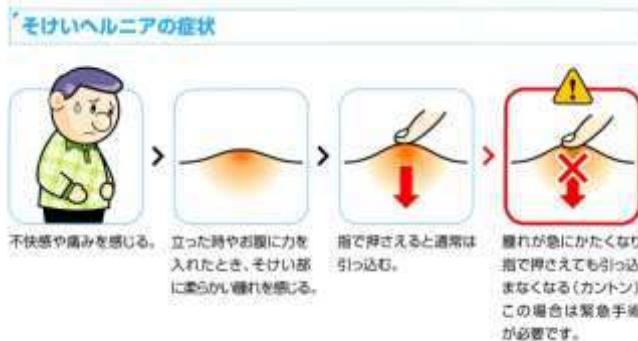
ヘルニアとはある臓器が体の弱い部分やすき間から他の部位へ出てくることを言います

鼠径ヘルニアは一般に脱腸と呼ばれる良性疾患です。小児と成人が罹患しますが、小児の場合は自然治癒する場合があります。成人の場合は加齢と共に下腹部から足の付け根(鼠径部)の組織が脆弱になり、その部分からお腹の中にある腹膜が袋状に飛び出してくることにより起こります。



## 2. 鼠径ヘルニアの症状と種類

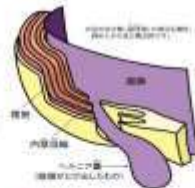
- \* 立ち上がった時、お腹に力を入れると足の付け根(鼠径部)が膨らみ、男性の場合は陰嚢に達する場合があります。
- \* こぶ状の膨らみは指で押さえたり、横に寝ると通常は消えます。
- \* 腸が出入りしている間は軽い痛み、つっぱりが起きる程度で強い痛み等、特別な症状はありません。
- \* 腫れが急に硬くなり、指で押しても戻らない状態(嵌頓状態)は緊急手術が必要です。



- ◎鼠径ヘルニアには脱出部位により2つの種類があります。
- ◎この他に大腿ヘルニアと呼ばれる脱出の仕方もあります。
- ◎治療法は手術のみが根治方法です。脱腸帯をつけている方が時々おられますが、根治にはつながりません。

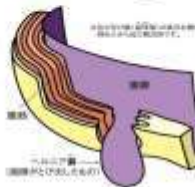
### ●外鼠径(間接)ヘルニア

お腹の中から内鼠径輪を遡って、小腸などが出てきます。鼠径ヘルニアの多くはこの外鼠径ヘルニアです。身体の右側に多く見られる傾向があります。内鼠径輪から男性では精巣が、女性では子宮内卵管がお腹の中から出ています。



### ●内鼠径(直接)ヘルニア

内鼠径輪を遡らず、直接に小腸などが出てきます。外鼠径ヘルニアより少ないですが高齢者に多く見られます。



鼠径部より少し足の方にある大腿管とよばれる管を通過して、小腸などが出てきます。中年以降の女性(出産された方)に多く見られます。

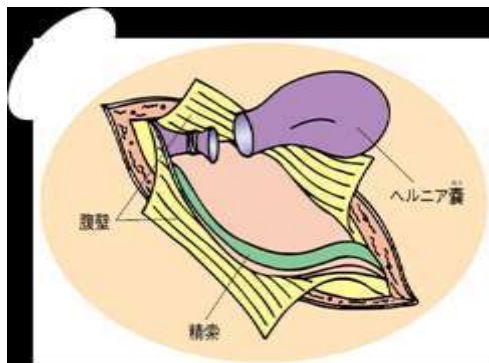


### 3. 鼠径ヘルニアの手術方法

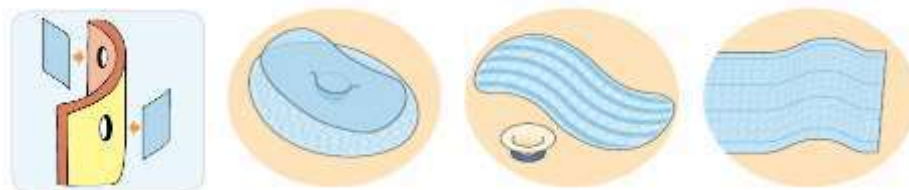
主に鼠径部から手術が行われていますが、腹腔鏡を使用した手術も行われます。

#### ① 鼠径部からの手術

麻酔は通常腰椎麻酔、あるいは全身麻酔で行います。足の付け根を約6～7cm切開します。まずヘルニア嚢を根元でしばります。



続いてヘルニアの出口を塞ぐとともに弱くなった腹壁を補強する人工補強メッシュシートを用います。この人工補強シートは柔らかいメッシュ状で、体に害の無い素材で作られています。異物を挿入するため異物感を感じるケースもありますが、経過とともに慣れ、軽快してきます。最近ではシートの一部が吸収されるメッシュシートも登場しており、より異物感の少ない手術も可能となっております。



#### ② 腹腔鏡下手術

お腹に5～10mmの穴を3か所あけ、腹腔鏡を用い手術を行います。お腹の内側からヘルニアの出口を観察し、メッシュシートを当てる方法で、傷も小さく痛みが少ない手術です。

鼠径部からの手術に比較すると、やや時間がかかり全身麻酔が必要です。

\* 三好病院では鼠径部、腹腔鏡での手術の両方に対応が可能です。外科外来受診し御相談下さい。



### 4. 手術後の生活について

術翌日から歩行が可能です。シャワーは翌日、入浴は術後3日目位から、退院は術後3、4日目としていますが、施設によっては日帰り手術を行っているところもあります。手術部位は半年くらいはつぶやり感が少し残る場合がありますが、1年くらいするとほとんど気にならなくなります。日常生活、仕事等は早期から復帰可能ですが、力仕事等は少なくとも1カ月は避けるほうが良いです。

便秘に気をつけ、なるべく下腹部に力がかからない生活を心がけることが重要です。

手術を施行した部位に異常を感じたり、発熱、腹痛、腹部が張る等の症状がでた場合はすぐに受診して下さい。



新シリーズ 「三好病院各部署紹介 第二弾は4階の内科・産婦人科・眼科病棟紹介です。」

## コミュニケーションを円滑にとり、安全・安心の医療・看護を

4階 内科・産婦人科・眼科病棟 看護師長 田野 玲子

4階病棟は複数の診療科からなる混合病棟となっています。入院患者数は45名前後で、看護師25名、看護助手2名、業務クーク1名で毎日のお世話をさせていただいています。主には胃、大腸、肝臓などの消化器疾患や糖尿病、また子宮がん、卵巣のう腫などの婦人科疾患や白内障の患者さんが入院されます。特に胃、大腸の内視鏡・ERCP（逆行性膵胆管造影）の件数は多く、安心して検査や治療が受けられるようチーム一丸となり取り組んでいます。その一環としてクリティカルパス（医療の予定一覧表）を用いて医療の内容を評価・改善し、質の高い医療を提供できるよう内科外来と連携をとりながら入院から退院までの計画を立てています。

大腸ポリープ切除術を受けられる

項目	実施日時	実施内容	実施場所
検査	10月15日 午前	大腸内視鏡検査	消化器科
手術	10月16日 午後	大腸ポリープ切除術	消化器科
入院	10月15日 午後	入院	4階病棟
退院	10月18日 午後	退院	4階病棟
フォローアップ	10月25日 午後	フォローアップ	消化器科

【図1】

患者さん用には検査・治療の予定や内容、いつ頃どのような状態になれば退院することができるのか等を一覧【図1】にしてご説明しています。個々の患者さんに合わせてすすめていくので、予期しない状況が発生した場合には、予定以外のその状況にあわせた適切な対応が行われます。また糖尿病教育入院においては、ビデオ視聴により糖尿病について学んでいただいた後、自己血糖測定【図2】、インスリン注射【図3】の実技指導を自宅で実施できるようになるまで繰り返し行っています。また病棟薬剤師による服薬指導、管理栄養士による食事指導も行われ看護師は医師、薬剤師、管理栄養士との連携を取りチーム医療を行っています。十分なインフォームドコンセント（説明と同意）を行って、不安の軽減に努めながら入院生活が短期間で快適であるように心のこもった医療を目指しています。



自己血糖測定の実技指導中【図2】



インスリン自己注射指導セット【図3】

その他には、白内障手術（一週間に4～5例）、婦人科手術（月に1～2例）などが主な治療対象となっています。またお産は休止していますが、“つわり”などで点滴治療の必要な妊婦さんも入院できます。患者のみなさんのご希望に沿える医療・看護を提供できることを目標に4階病棟は24時間365日頑張っています。

御意見・御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。広報バックナンバーは、ホームページにて御覧になれます。